



母国と違うごみ分別を学ぶ

まさき日本語教室「ごみの分別」

まさき日本語教室の第6回「ごみの分別」が9月17日、文化センターで行われ、町内に在の外国人8人が参加しました。

これは、県国際交流センターが主催する事業で、外国人が言葉や生活に役立つ情報を学ぶ場として行われているものです。今回は、ごみの分別方法や種類について、日本人のサポーターと一緒にクイズや実践を交えて学びました。

ベトナム人のトゥエットさんは「楽しく勉強できた。生活に役に立つ情報をシェアしてもらって、すごくありがたい」と話していました。



地域の誰もが即座に対処できるように

昌農内自主防災会 救命講習

昌農内自主防災会が9月19日、昌農内集会所で自主防災訓練として救命講習を行いました。これは、昌農内自治会の全役員を対象に毎年行っており、今年度の第1回は、初受講の組長など15人が参加しました。

松前消防署員を講師に招き、胸骨圧迫や人工呼吸の方法、AEDの使い方を学び、全員が実践しました。昌農内自主防災会事務局の田中清久さんは「実際に現場に遭遇するとパニックになるため、訓練を続けることが大切。やればやるほど身に付く」と話していました。



高校生と地域がつながる

第2回つながるまさきフェスタ

伊予高等学校主催の「第2回つながるまさきフェスタ」が9月12日、文化センターなどで開催されました。

これは伊予高等学校が行っている探Q（総合的な探究の時間）の授業の一環として行われたイベントで、世代や立場を超えた交流を目的としています。生徒が中心となって計画し、約半年の準備期間を経て開催されました。吹奏楽の演奏、囲碁の対戦、マジックの披露、子ども服の譲渡やシャボン玉アートなどが行われ、高校生の探Qの成果を多くの人を楽しんでいました。



オリジナルポスターで町をアピール

松前中学校3年生 ポスター寄贈

松前中学校3年生の廣瀬月咲さん（左）と藤原心結さん（右）が9月11日、町外の人に向けて町の特産品をアピールする内容のポスターを寄贈しました。

これは、松前中学校が行っている「総合的な学習の時間」の授業の一環で行われたものです。自分たちらしい地域貢献をしようと考えた2人がポスターを描き、役場へ寄贈しました。ポスターには、町花のひまわりのほか、特産品としてはだか麦やソラマメなどが描かれています。庁舎1階ロビーとポスター掲示板に掲示中です。ぜひご覧ください。



魅力ある老人クラブづくりを目指して

令和8年度高齢者福祉関係功労者知事表彰

「第66回愛媛県シニアクラブ大会」が9月4日、県民文化会館で開催され、鳥谷忠夫さん（左）と若井良一さん（右）が高齢者福祉関係功労者知事表彰を受けました。これは、地域の老人クラブ会長をはじめ、町老人クラブ連合会役員を務めるなど、10年以上にわたり地域のリーダーとして老人クラブの活性化に尽力してきた功績が認められたものです。

鳥谷さんは「みんなのために活動するのが生きがい。これからも続けたい」、若井さんは「これからも地域の人々が元気で長生きしてもらえるよう活動していく」と話していました。



防災に役立てて

松前町商工会女性部 夏祭り売り上げ寄付

松前町商工会女性部（玉野聖子部長）が9月11日、夏祭りの売り上げの一部を、町の大規模地震災害対策基金に寄付しました。同部は、平成18年度から毎年、この基金への寄付を行っています。

玉野部長は「防災に役立てていただけたらと思います」と目録を田中町長に渡しました。目録を受け取った田中町長は「毎年貴重な寄付をありがとうございます。大切にに使わせていただきます」と感謝を伝えました。



浸水被害低減に向けた現場を見学

簡井地区雨水貯留施設 町民向け現場見学会

工事現場周辺に住む町民を対象に、簡井地区雨水貯留施設整備工事の現場見学を8月29日に開催し、約70人が参加しました。

この見学会は、町民に貯留施設の仕組みや役割を知ってもらうことを目的に行われました。四国最大級のこの施設は、大雨と満潮が重なり、雨水を排水できない時間帯に一時的に雨水を貯留するためのものです。

参加した人は「防災のために必要な施設であることが理解できた」と話していました。



祝 100 歳おめでとうございます 長寿者訪問

9月21日の敬老の日になみ、田中町長と住田議長が9月30日、町内最高齢者と100歳を迎える高齢者を訪問し、長寿を祝いました。本年度の対象者は18人です。

田中町長と住田議長は、介護保険施設などを訪れ、一人一人に声を掛けながらお祝い状と記念品を贈呈しました。

※ 町内最高齢者(109歳)と、100歳を迎える17人のうち4人を掲載しています(順不同)。



ひぐち としこ
樋口 利子さん



せん ば ゆり
仙波 百合さん



なか の
中野 トモエさん



みなくち たかお
水口 孝雄さん



みやうち こ
宮内 チヅ子さん

交通安全への願いを込めて 交通安全ポスターコンクール入賞作品

子どもの視点から見た交通安全メッセージを通して、交通事故のない安全安心なまちづくりを進めるため、町主催で「交通安全ポスターコンクール」を実施しました。

本年度は町内の小中学生から503点の応募があり、審査の結果、各賞に下の皆さんの作品が選ばれました。

【町長賞】



松前中2年
小林 咲結さん



【町長賞】



松前小4年
富永 緒さん



【優秀賞】

まつした ひより
松下陽咲さん(松前中1年)
はるまき
濱崎まどかさん(松前中1年)
はし、さな
林 紗名さん(松前中1年)
たかぎ みる
高木希咲さん(北伊予中3年)
はなだ みおん
花田美音さん(松前小5年)
はしもと る
橋本心夢さん(松前小6年)
こうの れん
河野尚実さん(北伊予小6年)
とくい めい
徳居明奈さん(岡田小2年)

おにぎりにするのが待ち遠しい 青葉幼稚園 稲刈り

青葉幼稚園の園児約70人が10月2日、幼稚園近くの田んぼで稲刈りを行いました。

6月に園児たちが田植えを行った田んぼでは、園児の背丈ほどの高さまで育った稲穂がお出迎え。地域の人と一緒に鎌を使用し、稲を一株一株丁寧に収穫していました。収穫されたお米は給食で提供されるほか、12月に同園で開催される「おにぎり大会」で自分たちで握って食べる予定です。松田夕莉さんは「たくさんお米が取れて楽しかった。おにぎり大会が楽しみ」と話していました。



これまでの取り組みの共有を チームワークシティまさきプロジェクト

「チームワークシティまさきプロジェクト」の初回成果報告会が10月5日に開催され、プロジェクトの概要、これまでの活動内容、作成したアプリの活用事例、成果や課題、今後の展望などについて各課の担当者が報告をしました。

この取り組みは、町とサイボウズ株式会社が連携し、行政事務の改善をはじめ、子育て・教育、医療・介護福祉、文化芸術、地域コミュニティなど、地域のさまざまな分野で情報共有と業務改善を進め、地域課題の解決を目指すものです。町は今後も更なる改善と課題解決を進めていきます。



交通事故のない社会を目指して 第15回おたたさんで交通茶屋

「おたたさんで交通茶屋&愛媛県警交通安全フェア」が9月23日、伊予高等学校の文化祭の開催に併せて行われ、多くの人が訪れました。

会場では「おたたさん」の衣装をまとった町職員が交通安全啓発グッズを配布し、交通安全を呼び掛けました。また、白バイやパトカーの乗車体験も行われ、訪れた人は記念撮影を楽しみながら、交通安全への意識を高めていました。



豊かな地域社会づくりを応援 明治安田生命保険相互会社寄付

明治安田生命保険相互会社松山支社(丸山博史支社長)が10月6日、「私の地元応援募金」として町に71万3,500円を寄付しました。

「私の地元応援募金」とは、地元支援の一環として、従業員がゆかりの自治体などにする募金額に、会社が上乗せして寄付をするというものです。同社勝山営業所江口正史所長から「松前町の健やかなまちづくりの一助となれば、これに勝る喜びはない」と目録が手渡され、田中町長は「大切にに使わせていただきます」と感謝状を贈りました。

